

⑧ 問題解決の技法例

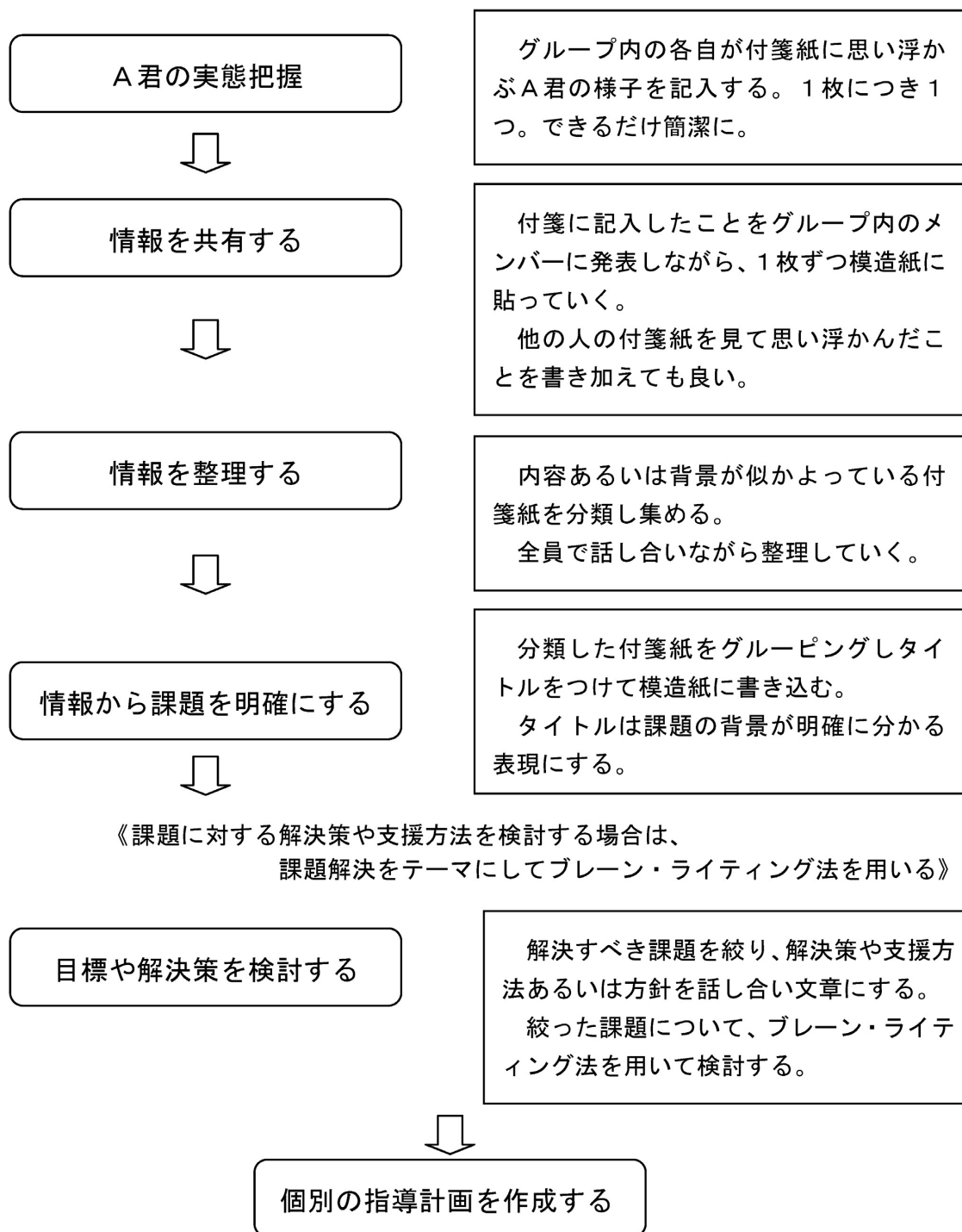
ブレン・ライティング法を取り入れた事例検討会

【準備】

準備物・・小さな紙（付箋紙等）、筆記用具（マジック類）、模造紙

・ 5～6人程度のグループをつくる。

《児童生徒の実態把握・課題の明確化を目的とした事例検討会の場合》



⑧ 問題解決の技法例

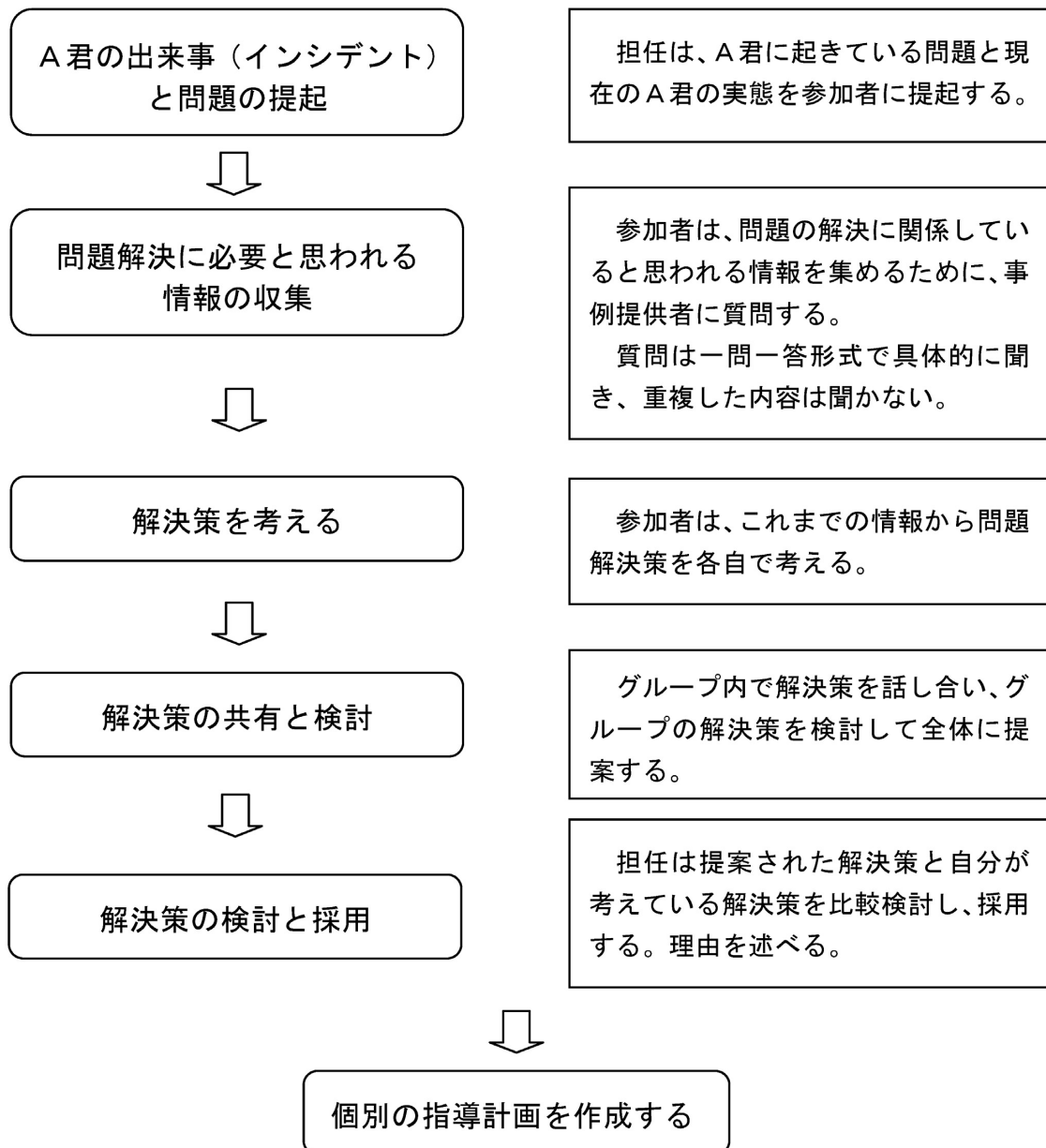
インシデントプロセス法を取り入れた事例検討会

【準備】

- 準備物・・記録用紙あるいはワークシート(参加者個人用)、筆記用具
- ・事例提供者、司会者を決める。場合によっては指導助言者を設定する。
- ・参加者は4～5人程度のグループをつくる。
- ・事例提供者は事例の要点をまとめておく。

【留意点】

- ・質問では、事例提供者の感想や推測は求めない。
- ・事例提供者を責めるような質問はしない。
- ・参加者は当事者になったつもりで参加する。



⑧ 問題解決の技法例

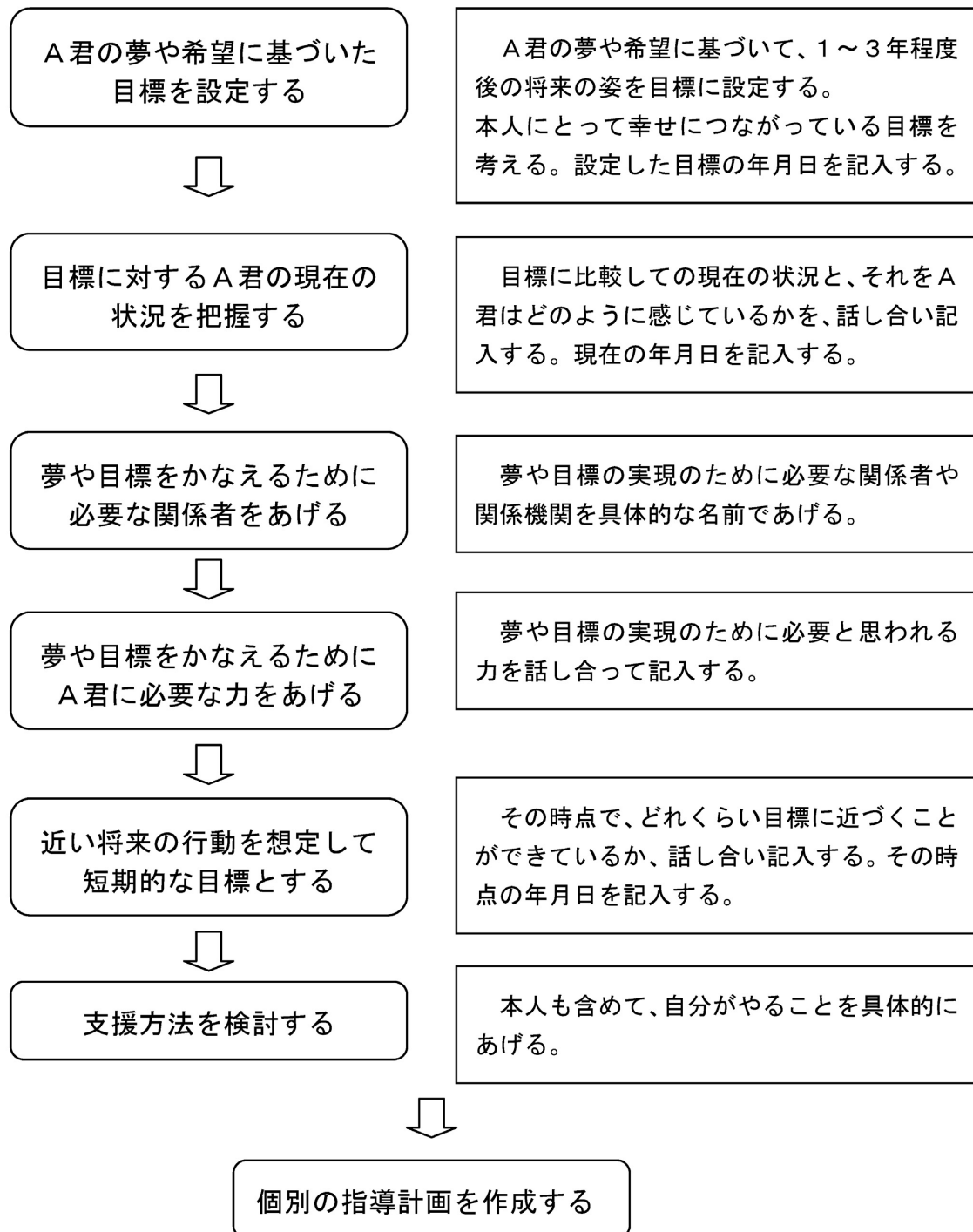
P A T Hの技法を取り入れた事例検討会

【準備】

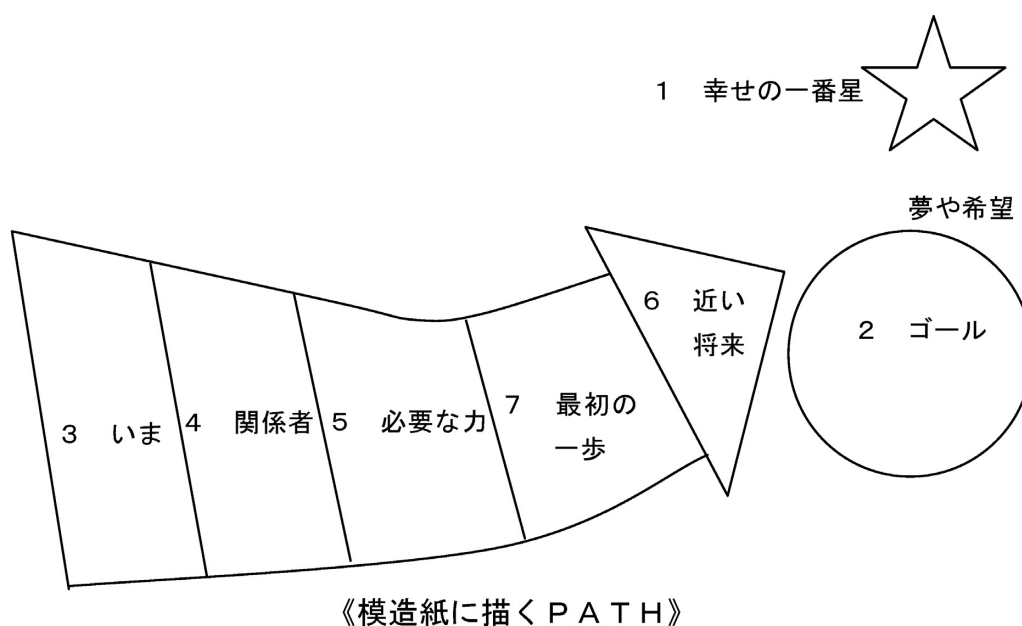
準備物・・・模造紙、色マジック

【留意点】

進行役はグループ内の協議がどの段階のステップかを正確に伝える。



(参考)



【PATHのステップ】

- 1 幸せの一番星（夢や希望について語ること）
- 2 ゴールを設定する・感じる
- 3 いまに根ざすこと（どこに私／私たちはいるのか）
- 4 夢をかなえるために誰を必要とするのか
- 5 必要な力（どんな力を増したらいいか）
- 6 近い将来の行動を図示する
- 7 はじめの一步を踏み出す